

IT Automation BASE 【実習】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro ✓

目次

- 1. 管理コンソール
 - 1. シナリオ
- 2. 実習①
 - 1. 新規ユーザの作成
 - 2. ロールの登録
 - 3. ロール・メニュー紐付
 - 4. ロール・ユーザ紐付
 - 5. 紐付確認
- 3. 基本コンソール
 - 1. シナリオ
 - 2. 事前準備
- 4. 実習②
 - 1. 作業対象ホストの登録
 - 2. オペレーションの登録
 - 3. IaCの登録
 - 4. Movementの登録
 - 5. Movement詳細の登録
 - 6. オペレーションに関連付くMovementとホストの登録
 - 7. 代入值管理
 - 8. Symphonyの登録
 - 9. Symphonyの実行
 - 10. Symphony完了確認

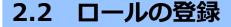
1. 管理コンソール



1.1 シナリオ 1/2

■本シナリオは、ユーザ「testuser」を新規作成し、 「testuser」が「機器一覧」のメニューを閲覧可能とする 内容となっております。

2.1 新規ユーザの作成





2.4 ロール・ユーザの紐付

2.5 紐付確認

1.1 シナリオ (2/2)

■ 今回のシナリオにおいて 「2.1 新規ユーザの作成」「2.4 ロール・ユーザの紐付」については 定常的に発生する作業と想定されます。

不定期作業	2.2 ロールの登録
	2.3 ロール・メニューの紐付
定常作業	2.1 新規ユーザの作成
	2.4 ロール・ユーザの紐付 実行が

2. 実習①



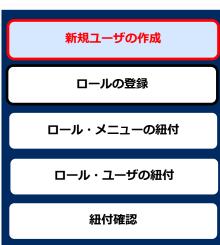
2.1 新規ユーザの作成

新規ユーザの作成

「管理コンソール」メニューグループ>>「ユーザ管理」メニュー>> 「登録」サブメニュー>> 「登録開始」ボタン

- ① 「ログインID」「ログインPW」「ユーザ名」「メールアドレス」を入力
- ② 「登録」ボタンを押下





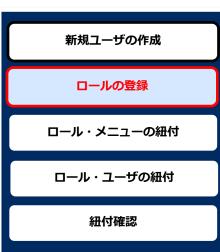
2.2 ロールの登録

ロールの登録

「管理コンソール」メニューグループ>>「ロール管理」メニュー>>「登録」サブメニュー>>「登録開始」ボタン

- 「ロール名称」を入力
- ② 「登録」ボタンを押下



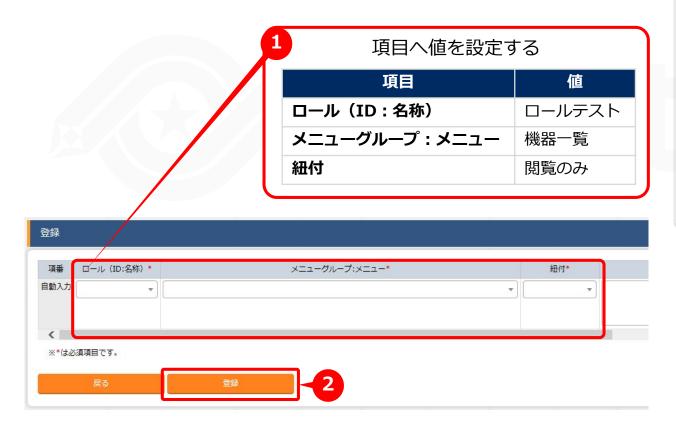


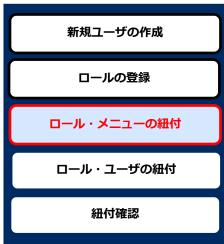
2.3 ロール・メニューの紐付 (1/2)

ロール・メニューの紐付①

「管理コンソール」メニューグループ >>「ロール・メニュー紐付管理」メニュー >>「登録」サブメニュー >>「登録開始」ボタン

- ① 「ロール(ID: 名称)」「メニューグループ:メニュー」「紐付」を入力
- ② 「登録」ボタンを押下





2.3 ロール・メニューの紐付 (2/2)

ロール・メニューの紐付②

- ●「紐付」については、「メンテナンス可」「閲覧のみ」の2種類があります。
 - ※「メンテナンス可」に設定することにより、編集機能が利用可能になります。



POINT今回のシナリオでは
[**閲覧のみ**]に設定します

2.4 ロール・ユーザの紐付

ロール・ユーザの紐付

「管理コンソール」メニューグループ >>「ロール・ユーザ紐付管理」メニュー >>「登録」サブメニュー >>「登録開始」ボタン

- ① 「ロール(ID:名称)」「ユーザID:ログインID」を入力
- ② 「登録」ボタンを押下



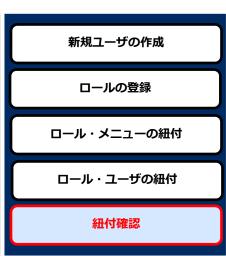
新規ユーザの作成
ロールの登録
ロール・メニューの紐付
ロール・ユーザの紐付
紐付確認

2.5 紐付確認 (1/4)

再ログイン実施

●ログアウトし、2.1で作成した「ユーザ名」と「ログインPW」で再ログインします。



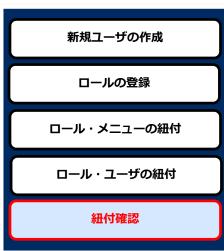


2.5 紐付確認 (2/4)

新パスワード設定

●初回ログイン時は、パスワード変更を要求されますので、 新パスワードを設定します。





2.5 紐付確認 (3/4)

メニュー画面の確認(権限が「<mark>閲覧のみ</mark>」の場合)

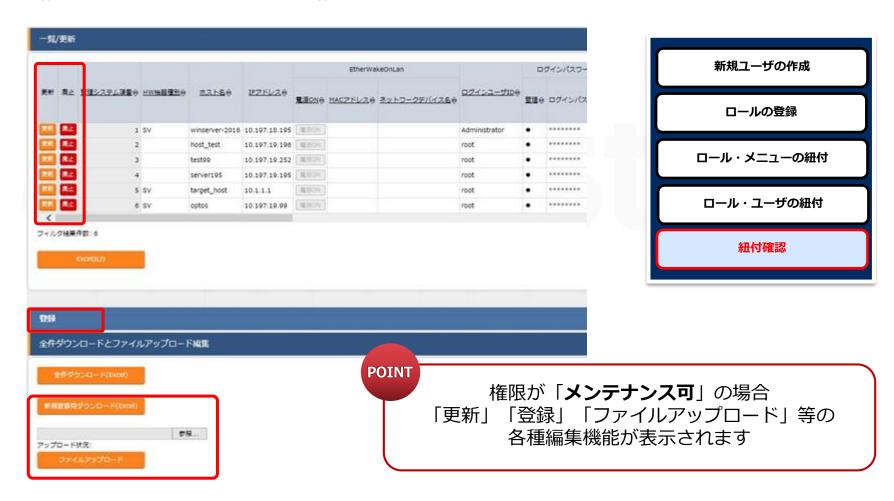
●紐付設定を「閲覧のみ」にしている為、編集機能は利用できません。



2.5 紐付確認 (4/4)

| メニュー画面の確認(権限が「メンテナンス可」の場合)

●紐付設定を「メンテナンス可」にした場合、各種編集機能の項目が表示され、編集が可能になります。



3.1 シナリオ

本シナリオは、対象ホストの tmp 配下に、 ディレクトリ「testdirectory」が作成される内容となります。 また、シナリオを進めるにあたり、Ansible driverが必要となりますので、 本シナリオでは、Ansible-Legacyを使用しご説明をいたします。

- 4.1 作業対象ホストの登録
- 4.2 オペレーションの登録
- 4.3 IaCの登録
- 4.4 Movementの登録
- 4.5 Movement詳細の登録

- 4.6 オペレーションに関連付く Movementとホストの登録
- 4.7 Symphonyの登録
- 4.8 Symphonyの実行
- 4.9 Symphony完了確認

工程の4.3~4.7で Ansible-Legacyの メニューを使用します

3.2 事前準備

IaCの作成

本シナリオでは、Ansible-Legacyを例にご説明します。 シナリオ実施の際に、IaCのサンプルとして Ansible プレイブックが必要となります。

以下に、サンプルプレイブックを記述しております。

※ 文字コードは"UTF-8"、改行コードは"LF"、拡張子は"yml"形式。 また、インデントにご注意下さい。

- name: Make Work Directory demonstration

file:

path: "/tmp/{{ VAR_DIRECTORY }}"

state: directory mode: 0755

POINT

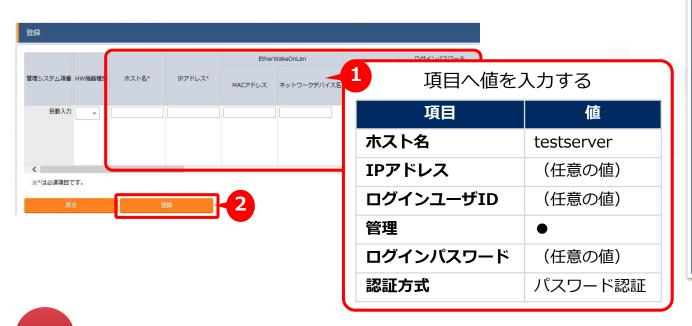
このIaCは /tmp配下に新規のディレクトリを作成します。 本シナリオではファイル名を「sample1」とします。

4.1 作業対象ホストの登録

|作業対象ホストの登録

「基本コンソール」メニューグループ >>「機器一覧」メニュー >>「登録」サブメニュー >>「登録開始」ボタン

- ① 「ホスト名」「IPアドレス」「ログインユーザID」「管理」 「ログインパスワード」「認証方式」を入力
- ② 「登録」ボタンを押下



作業対象ホスト登録

オペレーション登録

IaC登録

Movementの登録

Movement詳細登録

オペレーションに関連付く
Movementとホストの登録

代入値管理

Symphony登録

Symphonyででである。

Symphonyでである。

Symphonyでである。

POINT

本シナリオでは、作業対象ホストにsshのパスワード接続を行う場合を想定しています。
「IPアドレス」「ログインユーザID」「ログインパスワード」については
ユーザ様のご利用環境に適した設定をご入力ください。

4.2 オペレーションの登録

オペレーションの登録

「基本コンソール」メニューグループ >>「投入オペレーション一覧」メニュー >> 「登録」サブメニュー >>「登録開始」ボタン

- ① 「オペレーション名」 「実施予定日時」を入力
- ② 「登録」ボタンを押下





POINT

ここで指定した日時に 処理が実行されるわけではありません

4.3 IaCの登録

IaCの登録

「Ansible-Legacy」メニューグループ >>「プレイブック素材集」メニュー >>「登録」 サブメニュー >>「登録開始」ボタン

- ① 「プレイブック素材名」を入力、 「プレイブック素材」欄の「参照」ボタンを押下し 事前に作成した「sample1.yml」をアップロード (「事前アップロード」ボタン押下)
- ② 「登録」ボタンを押下





IaCの作成手順つきましては、 「3.2事前準備」をご参照下さい

4.4 Movementの登録

Movementの登録

「Ansible-Legacy」メニューグループ >>「Movement―覧」メニュー >>「登録」サブメニュー >>「登録開始」ボタン

- ① 「Movement名」「ホスト指定形式」を入力
- ② 「登録」ボタンを押下





4.5 Movement詳細の登録

| Movement詳細の登録

「Ansible-Legacy」メニューグループ >>「Movement詳細」メニュー >>「登録」サブ メニュー >>「登録開始」ボタン

- ① 「Movement」「プレイブック素材」「インクルード順序」を入力
- ② 「登録」ボタンを押下



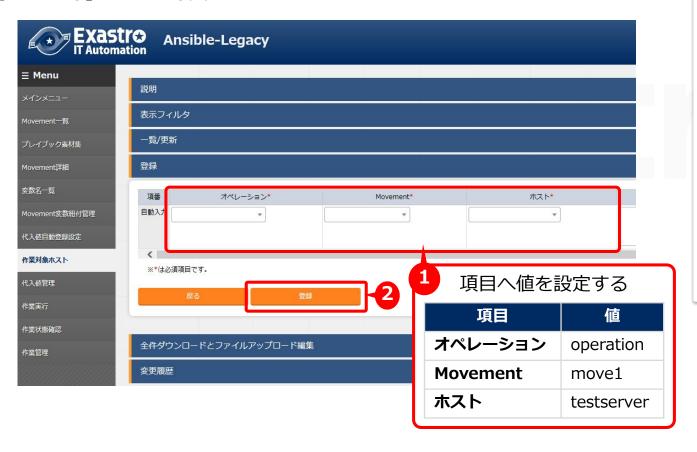


4.6 オペレーションに関連付くMovementとホストの登録

オペレーションに関連付くMovementとホストの登録

「Ansible-Legacy」メニューグループ >>「作業対象ホスト」メニュー >>「登録」サブメニュー >>「登録開始」ボタン

- ① 「オペレーション」「Movement」「ホスト」を入力
- ② 「登録」ボタンを押下



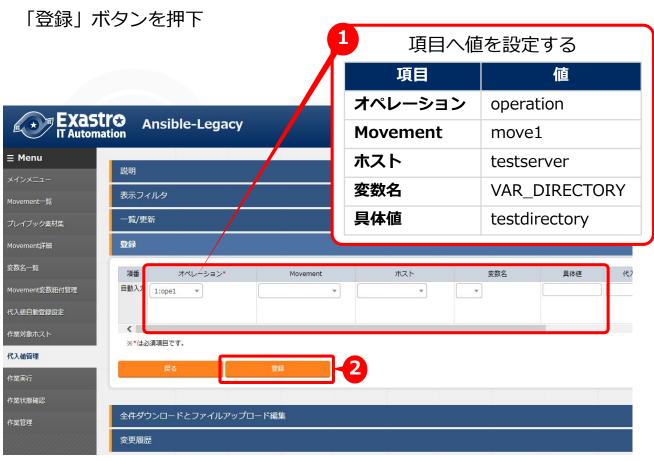


4.7 代入值管理

代入値管理

「Ansible-Legacy」メニューグループ >>「代入値管理」メニュー >>「登録」サブメニュー >>「登録開始」ボタン

① 「オペレーション」「Movement」「ホスト」「変数名」「具体値」を入力





4.8 Symphonyの登録

Symphonyの登録

「Symphony」メニューグループ >>「Symphonyクラス編集」メニュー >>「Symphony編集」サブメニュー

- 「Symphonyクラス名称」を入力
- ② 画面右側に表示されている「move1」を 画面中央にドラッグ&ドロップ
- ③ 「登録」ボタンを押下





4.9 Symphonyの実行

Symphonyの実行

「Symphony」メニューグループ >>「Symphony作業実行」メニュー

- ① 「Symphony[一覧] 」サブメニュー「Symphony名称」項目内の 「workflow」を選択
- ② 「オペレーション[一覧]」サブメニュー「オペレーション名」項目内の「operation」を選択



4.10 Symphony完了確認

Symphony完了確認

実行中または実行完了したMovementを選択すると、 対象作業ステータスや、ログを確認できる画面に遷移します。

